

令和7年度企業版ふるさと納税のご案内

■ 企業版ふるさと納税とは？

国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税などから**最大約9割が税額控除**される制度です。（令和9年度まで制度延長）

留意事項

- ・1回あたり10万円以上の寄附が対象となります。
- ・寄附の代償として経済的な利益を受け取ることは禁止されています。
- ・本社が松戸市に所在する場合は、本制度の対象となりません。

■ 寄附のメリット

- ☞ 市HP等でご寄附をいただいた企業様を**紹介・PR**します。
- ☞ ご寄附を通じた**地域貢献**につながります。
- ☞ 市との**パートナーシップ構築**のきっかけになります。



■ 令和7年度の寄附募集事業（概要は裏面）※以下に記載のない事業についてもお相談を承ります。

始業前の児童への見守りによる「小学1年生の壁対策」の実施

教育環境の充実

身近な場所でスポーツに親しめる環境づくり

重症心身障害児支援体制の強化

地域の交通利便性向上に向けた取り組み

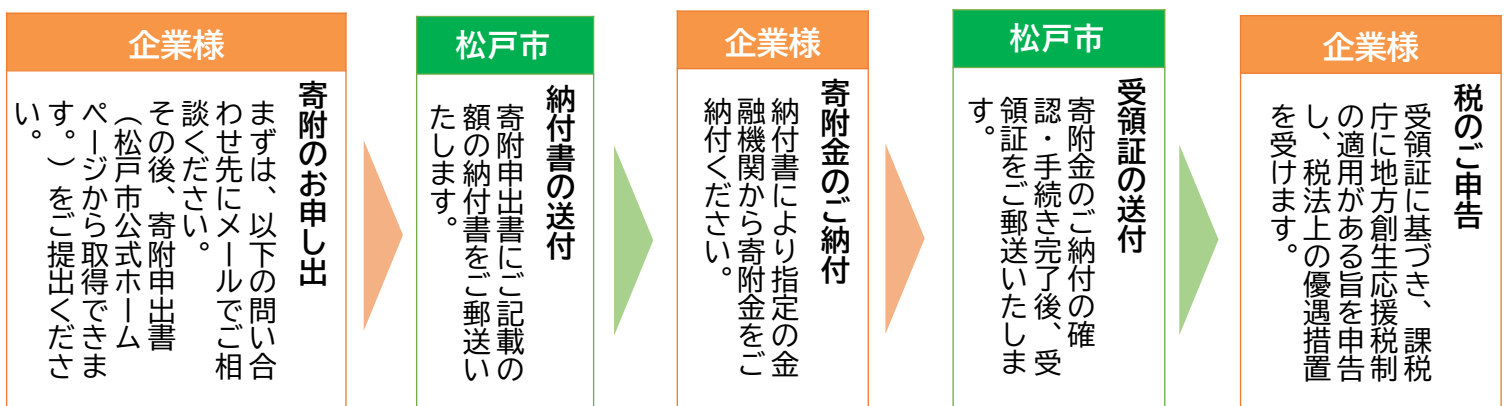
商店街の活性化に向けた支援の拡充

松戸産農産物のブランド化の促進

若い世代のライフデザインを支援

ゼロカーボン社会の実現に向けた取り組み

■ 寄附のお手続きの流れ



【お問い合わせ】

松戸市 総合政策部 政策推進課 SDGs推進担当室

E-mail: mcsdgssuisin@city.matsudo.chiba.jp / Tel: 047-704-4006

松戸市企業版ふるさと納税
ホームページはこちら



■ 令和7年度の寄附募集事業概要 ※以下に記載のない事業についてもお相談を承ります。

始業前の児童への見守りによる「小学1年生の壁対策」の実施

千葉県内初の取り組みとして、登校前の子どもの居場所がなく、親が働きにくくなる「小1の壁」問題に対応するため、学校登校日において、昇降口が開くまでの時間、シルバー人材センターの会員による「始業前の児童見守り事業」を市内45の小学校全校で実施します。

教育環境の充実

教育現場において、子ども達や家庭などから、毎日の生活の中で起きる困りごとや悩みを聞き、寄り添いながら、福祉的な視点から解決策を考えるスクールソーシャルワーカーについて、配置人数を拡大します。

身近な場所でスポーツに親しめる環境づくり

市民が身近な場所でスポーツに親しめるよう、夜間照明設置のモデルケースとして松戸市立第二中学校の校庭にLED照明を5基設置します。

重症心身障害児支援体制の強化

市内の重症心身障害児を対象とする障害児通所支援事業所に対し、補助金の支給対象要件（開所時間）を緩和することで、支援時間の延長ができる事業所を増やし、重症心身障害児の受入れ体制の充実を図ります。

地域の交通利便性向上に向けた取り組み

交通不便地域における持続可能な公共交通の確保に向けて、コミュニティバスの運行コースを増やし一部経費を支援するほか、一時使用の市営駐輪場の空き状況を事前に確認できる混雑状況可視化システムの導入等により、移動の利便性向上を図ります。

商店街の活性化に向けた支援の拡充

市内の商業の振興と商店街のさらなる活性化を目指して、商店会によるイベント開催等に対する補助金を拡充します。

松戸産農産物のブランド化の促進

松戸産の農産物のブランド化を促進するため、市内の学校給食に松戸産の農産物を導入する取り組みの拡大や、ロゴマークやキャッチフレーズを活用したPRグッズの作製などを行います。

若い世代のライフデザインを支援

若者を対象に、本市で働き、結婚、子育てをする理想のライフスタイルを実現できるよう、ライフデザインセミナーを開催するとともに、子育て家庭への訪問体験を実施します。

ゼロカーボン社会の実現に向けた取り組み

市民・事業者の脱炭素への取り組みを支援するため、電動バイクの切り替えへの支援及び配達ボックスの設置費用の一部を補助するとともに、公共施設の一括LED化に向けた調査等を通じ、脱炭素化へ向けた市の取り組みを進めます。

■ これまでにご寄附をいただいた企業様のご紹介（順不同）

朝日信用金庫 様

いちご株式会社 様
(他 いちごグループ各社様)

東京ベイ信用金庫 様

株式会社ホンダカーズ埼玉中 様

株式会社オーチュー 様

株式会社Liam 様

タレントスクエア株式会社 様

株式会社ゼロアクセル 様

株式会社ジャパン・サイクル・インフィニティ 様

株式会社エムエスピー 様

株式会社創建 様

株式会社アースダンボール 様

株式会社アサイン 様

■ ご寄附を活用した事業の例

3×3バスケットボールコートの整備



若者世代を中心とした、アーバンスポーツ需要の高まりを受け、青少年施設を活用し、3×3のバスケットボールコートの整備に活用させていただきました。

子育て世帯訪問支援事業（まつどりbabyヘルパー）



子育てに不安や負担を抱える妊婦・家庭が周囲から孤立し、虐待リスクが高まることを未然に防ぐため、ヘルパーが居宅を訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事育児を支援する取り組みに活用させていただきました。

地方創生SDGsの推進



SDGs未来都市として、産学官民連携のもと、SDGsの達成に向けた取組みを原動力とした地方創生の推進に活用させていただきました。